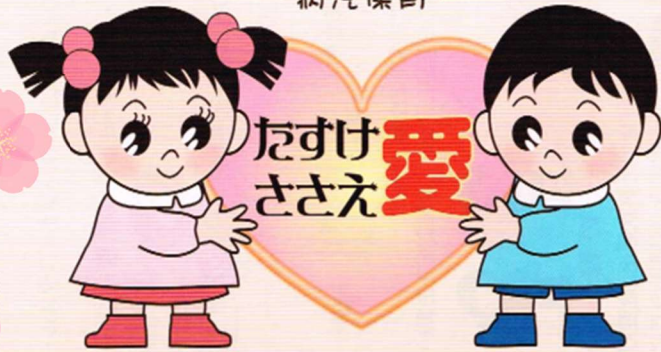


あいあいきっず

病児保育



令和5年度1月号

2022年	(報告週)	第52週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	93	1.02	180
小児科定点	咽頭結膜熱	18	0.33	1,149
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.09	766
	感染性胃腸炎	186	3.44	13,881
	水痘	7	0.13	225
	手足口病	20	0.37	3,274
	伝染性紅斑	1	0.02	40
	突発性発しん	8	0.15	1,009
	ヘルパンギーナ	12	0.22	753
	流行性耳下腺炎	2	0.04	112
	RSウイルス感染症	26	0.48	1,379
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	2	0.29	114
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	4
	無菌性髄膜炎	-	-	9
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
	報告数合計	380	0	22,899

印は前週比増

年が改まり、ますます空気が冷たく感じられる頃となりました。寒さの中にも清々しさを感じられ、身も心も引き締まる感じがします。

さて新型コロナの第8波の感染が拡大し、療養・自粛をされているご家庭もあると思います。新学期もスタートし、集団生活が始まったことにより、今後の動向が気になるところです。またインフルエンザも流行している地域がありますが、これまで行ってきた感染対策は有効ですので、引き続き継続していきましょう。

低温・低湿度を好むウイルスにとって、寒く空気が乾燥する冬は最適な環境です。ウイルスが浮遊しやすく、感染力を持つ期間が長くなるため、感染リスクが高まります。湿度が40%以下になると、ウイルスが活発に浮遊するので、50~60%の湿度になるように、加湿器や濡れたタオルを干すなどで対策しましょう。また、免疫力を高めるために、十分な栄養と睡眠、体調のすぐれない時は無理をしない事も大切です。

今年も安心してお預け頂ける環境を提供できるように、基本的な感染対策につとめてまいります。本年もよろしくお願いいたします。m(_ _)m。

インフルエンザ

潜伏期間 : 1~3日

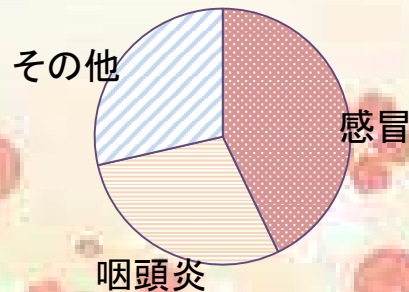
症状 : 発熱・咳・関節痛・倦怠感

感染経路 : 主に咳やくしゃみによる飛沫感染

登園基準 : 発熱後5日間及び解熱後3日を経過

- ・発熱後5日間とは、発熱した日は含まず、翌日を第1日目と数える。
- ・解熱後3日とは、解熱した日は数えず、翌日から3日を経過。

12月利用児病名割合



予約受付時間7:30~20:00 (月~土)

(日曜・祝日を除く)

病児病後児保育あいあいきっず

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^-^)

